

# 飼育員 日誌

長野・須坂市動物園

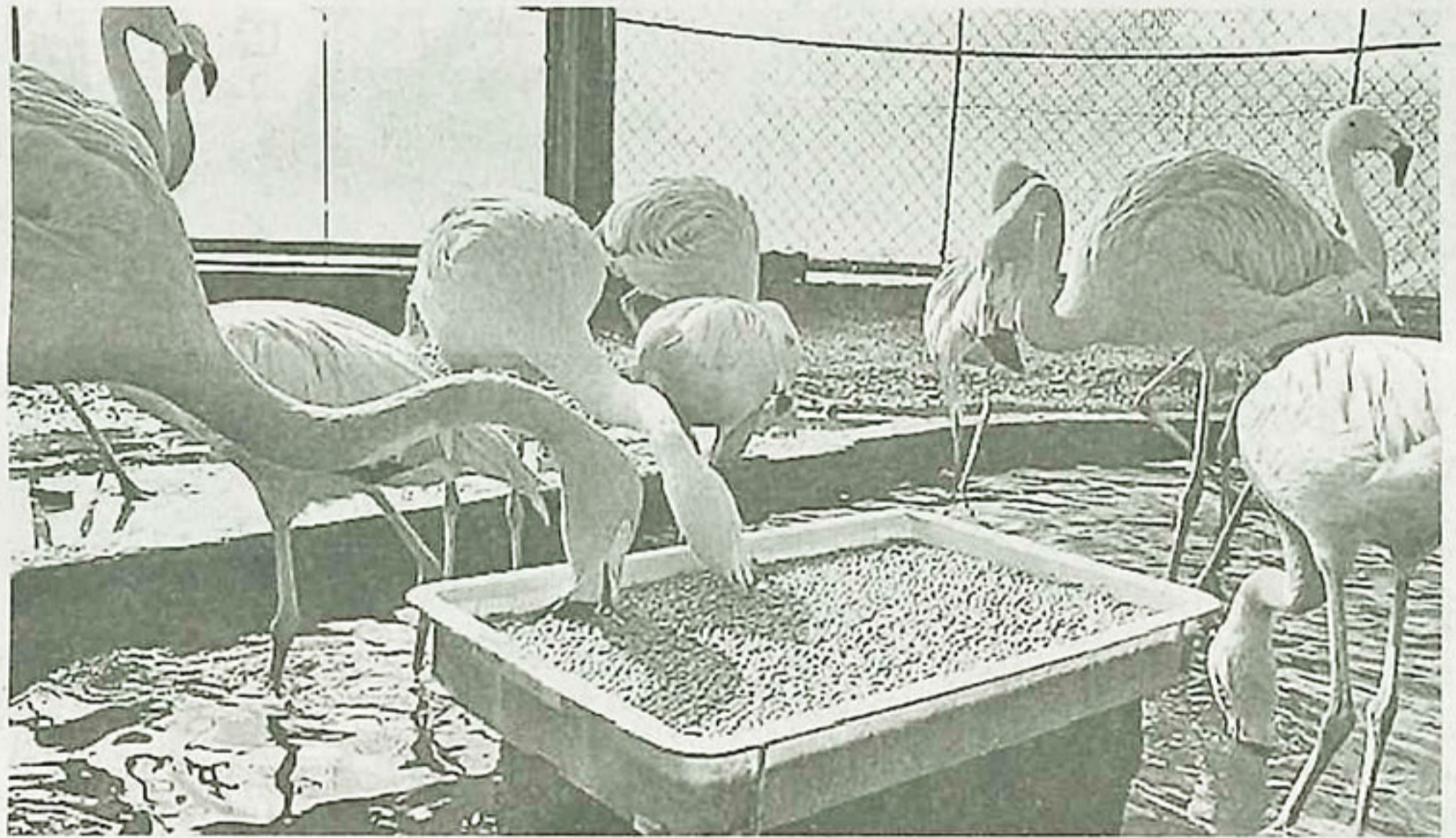


スザッチ

## フラミンゴ

フラミンゴと聞いて、イメージするのはピンク色の羽だと思いきす。羽のピンク色は元からではなく、食べ物によってピンク色になっています。野生のフラミンゴの餌は、主にプランクトンや藻類、甲殻類です。そのプランクトンや

## ピンク色は「モテるため」



餌を食べるフラミンゴ（須坂市動物園提供）

藻類にはベータカロテンやカンタキサンチンといった赤い色素が含まれているため、羽がピンク色になります。

動物園では、カンタキサンチン

が含まれている飼料を与えているため、鮮やかなピンク色が維持されています。赤い色素を摂取しないと、もちろんピンク色にならず、白っぽいフラミンゴになってしまいます。白っぽいフラミンゴになってしまうと、メスにモテなくなってしまうのです。なぜかというと、モテるのはピンク色の濃い個体、つまり餌をたくさん食べられる強い個体なのです。

実は餌以外に、尾の付け根から出る赤い油を全身に塗ることで、ピンク色になります。油は羽に防水加工をするために塗るのです。一緒に羽に色も入れているようです。当園の20羽のフラミンゴたちは今繁殖期のため、一番鮮やかな時期です。是非観察しに来てくださいね。

（飼育ふれあい係 駒村紅杏くれあ）